

専門教育カリキュラム

専門基礎分野

看護を多面的に理解するための科目群。専門分野を学ぶ上で重要な人体のしくみや機能、医学的知識などを学びます。ほとんどの科目を他学科教員を含め、本学専任教員が担当します。

専門分野

看護活動を行うための専門性を学ぶ科目群。「基礎看護学」を土台にライフステージや疾患の特徴、看護活動の場など、多様な視点から構成されている各看護学に基づき、看護の基礎と実践を学びます。

専門基礎分野	科目区分	1年次	2年次	3年次	4年次
		●人体形態学 ●人体機能学 ●生化学 ●栄養学	●病理学 ●臨床治療学Ⅰ ●臨床治療学Ⅱ※ ●臨床治療学Ⅲ※ ●感染微生物学 ●薬理学	●臨床薬理学	
専門基礎分野	身体のしくみ				
	人間と健康	●生涯発達論 ●家族社会学	人間工学 カンセンバコミュニケーション論		
専門基礎分野	人間の健康と社会生活	●社会福祉概論 ●地域との協働Ⅰ ●公衆衛生学 ●人間関係論 福祉実践論	●地域との協働Ⅱ ●疫学※ 人権と法	●保健医療福祉連携論※ 地域との協働Ⅱ 保健医療福祉行政論Ⅰ※ ソーシャルワーク・アドボカシー論 医療福祉論	保健医療福祉行政論Ⅱ※
	基礎看護学	●看護学概論 ●看護技術論 ●看護共通技術Ⅰ ●看護共通技術Ⅱ ●基礎看護技術Ⅰ ●基礎看護技術Ⅱ ●ヘルスマネジメント ●看護過程学習	●基礎看護技術Ⅲ ●基礎看護技術Ⅳ		
専門基礎分野	地域看護学	●地域看護学概論	●地域看護活動論Ⅰ ●地域看護活動論Ⅱ	●在宅看護活動論Ⅰ ●在宅看護活動論Ⅱ	
	成人看護学	●成人看護学概論	●成人看護活動論Ⅰ[急性期] ●成人看護活動論Ⅱ[慢性期]	●成人看護活動論Ⅱ[慢性期]	
専門基礎分野	老年看護学	●老年看護学概論 ●老年看護活動論Ⅰ	●老年看護学概論 ●老年看護活動論Ⅰ	●老年看護活動論Ⅱ	
	小児看護学	●小児看護学概論※ ●小児看護活動論Ⅰ	●小児看護活動論Ⅱ	●小児看護活動論Ⅱ	
専門基礎分野	母性看護学		●母性看護学概論※	●母性看護活動論Ⅰ※ ●母性看護活動論Ⅱ※	
	精神看護学		●精神看護学概論	●精神看護活動論Ⅰ ●精神看護活動論Ⅱ	
専門基礎分野	臨床実習	●基礎看護学実習Ⅰ	●基礎看護学実習Ⅱ	●成人看護学実習Ⅰ[急性期] ●成人看護学実習Ⅱ[慢性期] ●老年看護学実習	●地域看護学実習 ●小児看護学実習 ●精神看護学実習 ●統合実習※ ●母性看護学実習
	統合科目			●看護倫理 看護マネジメント論※ 看護情報学 ●看護研究の基礎 ●創成看護学活動論Ⅰ※	看護教育学 ●災害看護学・国際看護学 看護総合演習 ●卒業研究

※は保健師国家試験受験資格取得要件科目。●助産師国家試験受験資格取得要件科目である。

【保健師課程 定員15名】保健師国家試験受験資格取得のためには全科目の履修が必要。

専門基礎分野	科目区分	1年次	2年次	3年次	4年次
	統合科目		●公衆衛生看護学概論	●公衆衛生看護技術論 ●公衆衛生看護技術論演習 ●公衆衛生看護活動論Ⅰ ●公衆衛生看護活動論Ⅱ ●公衆衛生看護活動論Ⅲ ●公衆衛生看護活動論Ⅳ	●創成看護学活動論Ⅱ ●公衆衛生看護活動論Ⅳ ●公衆衛生看護管理論 ●公衆衛生看護学実習Ⅰ ●公衆衛生看護学実習Ⅱ

【助産師課程 定員4名】助産師国家試験受験資格取得のためには全科目の履修が必要。※助産師課程履修者のみ履修可。

専門基礎分野	科目区分	3年次	4年次
	統合科目	●助産学概論 ●リプロダクティブヘルス ●妊産期・分娩期の診断とケア ●産褥期・新生児期の診断とケア ●助産過程演習 ●地域・国際母子保健学 ●地域母子保健演習	●助産診断・技術学演習Ⅰ(妊産期) ●助産診断・技術学演習Ⅱ(分娩期) ●助産診断・技術学演習Ⅲ(産褥・新生児期) ●助産管理学 ●助産学実習Ⅰ(妊産) ●助産学実習Ⅱ(分娩・産褥・新生児) ●助産学実習Ⅲ(経緯事例) ●助産学実習Ⅳ(助産形ハイスケケア) ●助産学実習Ⅴ(地域母子保健)

赤色は
保健医療福祉
連携教育科目・
学部共通科目

● 必修科目

青色は
保健師課程
履修者のみ履修可